



北村 瞳



中道 かおり

いながわ 特派員報告

悠久の昔へと誘う国史跡

多田銀銅山遺跡

自然豊かな中に今も残る多田銀銅山遺跡。なんと、平成二十七年十月に、鉱山としては兵庫県初の国指定史跡に！今回は、特派員が多田銀銅山を訪れ、その歴史を見て、触れて、感じてきました！皆さんも、自分が住む町の歴史に思いを馳せてみませんか？
(写真 青木間歩)

多田銀銅山とは？

猪名川町、川西・宝塚・池田・箕面の各市と能勢町・豊能町の合計7市町にまたがる大規模な鉱山遺跡です。その歴史は古く、今から約1200年以上前、奈良の大仏造立の際に銅を献上したと言いつづられています。その後、豊臣秀吉が開発して栄え、今から356年前（江戸時代）には幕府の代官所が置かれ、「銀山三千軒」と称されるほどの賑わいをみせます。明治時代になると鉱山経営は政府から民間資本へ移行し、火薬や選鉱機械などが導入されます。その後、昭和48年まで操業し、長い歴史に幕を下ろしました。

多田銀銅山悠久の館

多田銀銅山にまつわる絵図や古文書、鉱石、鉱山道具などを展示。来年3月25日まで、企画展「銀山攻略第四巻」を開催中で、明治時代後期の多田銀銅山についても学べます。

《悠久の館の見どころ!!》

◇煙道模型

明治時代、製錬する際に出る煙は約200mもある煙道を通して山頂から排出していました。こんな昔から、環境にも気を遣っていたなんて、びっくり！中を覗いてみると、ロボット探査機のデータをもとに、三次元化された映像が！まるで、煙道内を探検しているかのような気分が味わえますよ。

◇江戸時代の鉱山道具

様々な道具をとおして、当時の鉱山で働く人々の様子がうかがえます。坑道内では、ある意外なものが灯りに利用されていました。展示されているので、ぜひ探してみてくださいね！
◇触れて学べるコーナー
鉱石の重さを比べるコーナーや、昔の道具に触れながら、その仕組みを学ぶことができます。

◀ふいご体験
「穴から空気が出てくるよ!」

▶坑道内探査ロボット
「こけても起き上がるよ!」

▶鉱山道具・ツチとタガネ

◆「日鑑」※江戸時代の役人の日記

銀山役所の役人である秋山良之助は、日々の暮らしや銀山の様子を「日鑑」に記していました。その中に「ぶりの刺身を食べた。」という記述が。この時代に海から遠い銀山地区で、刺身が食べられるなんてすごい！当時は、きつと物流も盛んだったんですね。この「日鑑」は、銀山や町内の人々の暮らしを知るうえでも重要な史料なんだそうです。

青木間歩

※間歩は銀や銅を採掘するための坑道



青木間歩

銀山地区の方より



橋本利彦さん

昔は、よく煙道を通って山頂まで探検したり、間歩の中で遊んだりしたものです。

今は、町内の小学生が銀山の歴史を学びに来てくれます。銀山をとおして、猪名川町の歴史にも興味を持ってくれたら嬉しいですね。

この辺りは自然が美しく、山歩きに來られる方も多いんですよ。悠久広場には芝生やベンチもあり、お弁当を持ってのんびりハイキングなどもオススメです。

昔も今も、銀山地区は私たちの大切な生活の場でもあります。この地をこれからも今の美しい姿で残していくためにも、銀山に來られたときは石を取ったりごみを捨てるなどせず、ルールやマナーを守って楽しんでください！※現在は、煙道に入ることはできません



悠久広場

多田銀銅山案内図

※車でお越しの際は、悠久の館駐車場をご利用ください
※悠久の館より北へは、徒歩での散策となります

▶問合せ
多田銀銅山悠久の館
(☎ 766 - 4800)



《編集後記》

実は歴史が苦手な特派員。今回の取材で、昔の道具に触れたり、初めて間歩にも入りました。すると、今までより歴史がもっと身近に感じられ、とても面白かったです！誌面だけじゃお伝えしきれないのが残念。ぜひ実際に現場に行ってみてくださいね！



灯りの正体「サザエ」



鉱石を持ち比べる特派員



金山彦神社



自治会長
橋本利彦さん



秋晴れの下、50 回目も大盛況 !!

◀ 11 月 3 日、総合公園などで「第 50 回記念事業いーな いながわまつり」が開催され、秋晴れの下約 33,000 人が出店やステージ発表などを楽しみました。今回は第 50 回目の開催を記念し、猪名川高校吹奏楽部の演奏や獅子舞の演舞なども会場に花を添えました。



里山を駆け抜けろ !!

選手のためのために
ヨイショ～!



町の文化発展を願って

▶ 11 月 3 日、7 年間猪名川町展審査員を務められている画家の伊藤 弘之さんが、生涯学習センターに 150 号の絵画などを寄贈くださいました。芸術の秋を彩る大作をぜひご覧ください。



安全・安心なまちをありがとう!



◀ 11 月 8 日、本年度の町警察官表彰式を開催し、川西警察署の生活安全課 高橋 時彦警部補と地域第一課 前田 均警部補に町長から「感謝状」を贈りました。代表の高橋警部補は「私たちはこれからも猪名川町が、ますます安全で安心なまちとなりますよう、全身全霊で取り組んでまいります」とあいさつしました。

▲ 11 月 12 日、大島地区で「第 3 回いながわ里山猪道トレイルラン」が開催されました。当日は、全国各地から約 350 人のランナーが参加し、秋の里山を満喫しました。また地域の人たちによるふるまい雑煮や餅つき、野菜の即売会なども行われ、地域一体となってトレイルランを盛り上げました。

今年も大好評! シルバー会員勢揃い!

▼ 11 月 11 日、社会福祉会館で「シルバーまつり」が開催されました。シルバー会員と地域の皆さんとの交流を楽しんでいただくとするこのイベントは、今年で 12 回目。年々認知度が高まり、約 600 人の参加者の間には様々な世代間交流も生まれていました。小さな子どもたちは、おじいちゃんたちが手作りした竹のおもちゃが大好き! 時には真剣な表情も見せながら楽しんでいました。



世界が広がる学習を



▲ 10 月 27 日、白金小学校の 5 年生が社会科学習の一環として、ダイハツ工業(株)を小学校に招いて体験教室を行いました。実物の部品を使ったクルマづくりの工程作業の体験に真剣な表情で取り組み、ものづくりの楽しさを味わいました。

また、11 月 2 日には 2 年生がバングラデシュの子どもたちとテレビ電話で交流しました。電子黒板にバングラデシュの子どもたちが映し出されるとみんな大喜び! 互いの国の言語や英語で挨拶したり、気になったことを質問しあったりしました。



うどんを打って、健康に!



▲ 10 月 24 日、ふるさと館で、健康講座「ふれあいうどん講習会」を開催し、14 人が参加しました。参加者の多くは初心者でしたが、講師の丁寧でわかりやすい説明を受けてスタート。力を込めて生地を踏んで伸ばし、額に汗のにじませながら立派なうどんを完成させました。



ますます便利に! 「役場前～清和台」

▼ 11 月 11 日、新名神高速道路川西インターチェンジへのアクセス道路、「県道川西インター線」「町道上野 6 号線」などが同時に開通しました。この日は、関係者による記念式典を行い、約 1,000 人が参加。待ちに待った開通を祝いました。参加した猪名川幼稚園児たちは、フラッグダンスを披露し、会場を盛り上げてくれました。

